

エネルギー対策特別会計予算を活用し、トラック輸送の省エネ化及び低炭素化を促進。

新規 低炭素価値向上に向けたシステム構築支援基金(環境省連携事業)

平成25年度予算額: 7,600百万円の内数

◆物流システムの低炭素化事業

○中距離貨物輸送分野の低炭素化に係る課題解決型モデル構築事業

大型CNGトラックによる中距離貨物輸送分野の低炭素化のモデル構築に係る事業計画を策定し、これに基づく設備導入経費を補助することにより、中距離貨物輸送を担う大型トラック輸送の低炭素化を図る。



- ▶ 都市間幹線輸送に一定規模の台数の大型CNGトラックを投入。
- ▶ 大型CNGトラック輸送に不可欠の大型車両用CNGスタンドを物流拠点等に計画的に配置

[補助対象経費] 大型CNGトラック購入費、大型用CNG充填施設の整備費等
[補助率] 1/2

○地域内輸送における共同輸配送促進事業

地域内輸送の大部分を占めるトラック輸送の効率化を図るため、効率改善に資する共同輸配送に要する設備導入経費について補助を行う。

[補助対象経費] 集約センター借上費、輸送車両・機材購入費、情報機器購入費等
[補助率] 1/2



新規 省エネ型ロジスティクス等推進事業(経産省連携事業)

平成25年度予算額: 2,100百万円の内数

トラック運送事業者が行う省エネ型トラック運送事業の実証(エコドライブプログラムの実施や革新的省エネ機器の導入)について支援を行う。

実証により得られたデータを活用し、荷主が省エネ型トラック運送を行っている事業者を選択できるように、省エネ努力に応じたトラック事業者相対評価制度の構築の検討を行う。

○エコドライブプログラムの実施

トラック運送事業者の車両運行及び使用実態を調査し、エコドライブの実施状況を診断、エコドライブ推進のためのアドバイスにより、実燃費を改善。

[補助対象経費] コンサルタント委託費、車載器(運転データ記録用)、運転データ分析ソフト

[補助率] 1/2

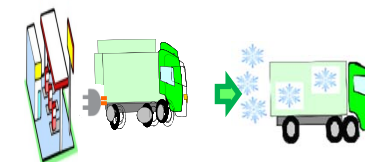
○革新的省エネ機器の導入

【太陽光発電によるアイドリングストップ】

トラックボディに設置した太陽光パネルの発電で運転室のクーラー電力を賄い、休憩、荷待ち時間のアイドリングストップを確実に実施し、燃料消費量を削減。

【外部給電式冷凍・冷蔵システム】

冷凍・冷蔵システムの電力を外部給電から蓄電し、エンジン停止状態でも荷室の冷凍・冷蔵を保ち、アイドリングストップを確実に実施し、燃料消費量を削減。



[補助対象経費] 省エネ機器導入経費
[補助率] 1/2